

経営・組織論

応用情報の教科書

9-1 企業活動

発表者：福井

企業経営

- 企業にとって重要なこと
単に利益を追求するだけでなく以下が重要
 - **CSR**
 - ・ 企業理念をもちCSR（Corporate Social Responsibility：社会的責任）を果たすことが重要
 - **グリーンIT**
 - ・ 地球環境に配慮したIT活動を行うグリーンITの思想も重要
- 会社の形態
 - 合資会社， 合名会社， 合同会社， 株式会社
 - ・ 株式会社では，株式の公開（IPO：Initial Public Offering）が行われており市場で株式の売買を行うことができる

企業の特徴

- **ゴーイングコンサーン**

- 企業が将来にわたって無期限に事業を継続することを前提とした考え方

- **コーポレートアイデンティティ**

- 企業の特長や個性を明確に提示し、強固なロゴやメッセージ発信して社会に向けたイメージを形成していく

- **IR (Investor Relations)**

- 一般投資家や株主無視、債権者などに情報を開示していく投資家向けの広報

- **コーポレートガバナンス**

- 様々な利害関係者（ステークホルダ）の視点から、企業経営の社会性や政治性を確保するといった考え方
 - ・ 企業は一家だけでなっている訳ではない、様々なステークホルダが絡んでる

ヒューマンリソースマネジメント

- **HRM : Human Resource Management (人的資源管理)**
 - 人事管理や労働管理だけでなく，組織の設計や教育・訓練・報酬体系の設計，福利厚生など様々な内容が含まれる
- 人事制度の移り変わり
 - 能力主義（従来）
 - 成果主義（現在）
 - ・ MBO（Management By Objectives：目標管理制度）などが導入され，評価の公平性や透明性をあげている
 - ・ 従業員の**コンピテンシ**に重点を置き，コンピテンシで従業員を評価する概念の導入
 - ・ コンピテンシ：高い業務成果を生み出す個人の行動特性（ムードメーカー，論理的思考etc）

行動科学

- 企業組織での人間行動に影響する理論に、**マズローの欲求段階説**がある
 - 1：生理的欲求， 2：安全欲求， 3：所属と愛の欲求
4：承認欲求， 5：自己実現欲求
 - 低次の欲求が満たされるとより高い欲求へと段階的に移動するという考え方
- マクレガーが提唱した**XY理論**
 - **X理論**：人間は本来ナマケモノなので，放っておくと仕事をしない．だから命令や懲罰で管理する必要がある
 - **Y理論**：人間は本来進んで働きたがる生き物であり，自己実現のためにみづから行動する
- 低次の欲求が満たされている現代ではY理論に基づいた経営手法が望ましいとされている

組織経営

- **CEO** (Chief Executive Officer : 最高経営責任者)
 - すべての業務を統括する役員
- **CIO** (Chief Information Officer : 最高情報責任者)
 - 情報を統括する役員
- 経営組織構造
 - **階層型組織**
 - 経営者, 部長, 課長, 平社員などで分ける
 - **職能別組織**
 - 人事, 営業, 情報システムかなど職能で分ける
 - **事業別組織**
 - 製品やサービスで事業部を分ける
 - **マトリックス組織**
 - 職能別組織と事業部別組織の組み合わせ

経営環境の変化

- **ワークライフバランス**の必要性
 - 仕事だけを一生懸命するのではない、勤務形態の変化
 - ・ サテライトオフィス：遠隔勤務できるオフィス
 - ・ SOHO（Small Office Home Office）：自宅でビジネスを行う
- **アカウンタビリティ**の重要性
 - **ディスクロージャ**や**アカウンタビリティ**が大切になっている
 - ・ ディスクロージャ：国際化により、利害関係者に対して、経営や財務の状況などの各種情報を公開する
 - ・ アカウンタビリティ：企業が株主から委託された資金を適正な使途に配分し、その結果を説明する必要性
- **SRI**（Socially Responsible Investment）：社会的責任投資
 - 投資家が単純に利益を追求するのではなく経営陣に対してCSRに配慮した経営を求めていく

問題

企業経営の透明性を確保するために、企業は誰のために経営を行っているか、トップマネジメントの構造はどうなっているか、組織内部に自浄能力をもっているか、などを問うものはどれか。

- ア コアコンピタンス
- イ コーポレートアイデンティティ
- ウ コーポレートガバナンス
- エ ステークホルダアナリシス

(平成26年秋 応用情報技術者試験 午前 問74)

解説

コーポレートガバナンスでは企業の社会性を確認する必要があるため、企業経営の透明性が必要です。そこで、企業は誰のために経営を行っているか、トップマネジメントはどうなっているのか、ということをお聞きかけます。したがって、ウが正解です。

ア コアコンピタンスは、企業の経営資源を組み合わせ、企業の独自性を生み出す組織能力のことです。

イ コーポレートアイデンティティは、企業の特性や個性を明確に提示し、社会に向けたイメージを形成していくことです。

エ ステークホルダーアナリシス(ステークホルダー分析)は、企業を取り巻くステークホルダー(利害関係者)を洗い出し、対策を考えることです。

《 解答 》 ウ